

|                  |       |
|------------------|-------|
| 2022年度ORD総会と講演会  | 1~2   |
| ORD講演会・見学会       | 2~3   |
| ORD見学会レポート       | 4~5   |
| ORD講演会レポート       | 5~6   |
| 技術促進委員会「見学会」レポート | 6~7   |
| 製品開発委員会例会レポート    | 8~9   |
| 製品開発委員会例会レポート    | 9~10  |
| 事務局だより           | 11~12 |

編集：企画広報部会 事務局：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1丁目10番25号(奥野製薬工業(株)内)  
TEL 06-6961-7866 FAX 06-6961-7878 URL <https://ord-osaka.org>

## 大阪府研究開発型企业振興会(ORD) 2022年度ORD総会と講演会

- 日 時：2022年6月29日(水) 13時30分～16時45分  
総 会：13時30分～14時30分  
基調講演：15時00分～16時45分  
懇 親 会：17時00分～18時30分
- 会 場：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)11階 1102会議室  
〔懇親会会場〕 同12F グラントック

### 2022年度ORD総会



奥野代表幹事

令和4年6月29日大阪国際会議場におきまして、コロナ禍で2年連続対面での開催を中止しておりましたORD総会が3年ぶりに開催されました。

代表幹事の挨拶、来賓紹介、来賓代表挨拶に続き、議事進行に入り議案は全て満場一致で承認され



来賓代表：大阪府 中谷課長

ました。その後、部会・委員会報告、大阪府からの案内等を得て無事終了致しました。

続いて、ORD総会の基調講演と致しまして、愛知淑徳大学ビジネス学部教授 真田幸光先生に、「中露情勢とグローバル経済の未来」と言うテーマでご講演頂きました。

お話のポイントは、

- ・新型コロナウイルスの動向
- ・2022年経済  
インフレの進展と米国の金融政策  
ロシアとウクライナ情勢  
中国本土のリスク
- ・英米の秩序  
民主主義VS専制主義
- ・にほんの目指すべき姿

世界がもの凄く強く必要としているモノやサービスの中で、日本人の「おもてなし」の心、「三方よし」の精神による、モノやサービスに絞り込み、それを正当に評価してくれる相手に対して、量と価格を安定させながら供給していく、質に拘るビジネス展開。



真田幸光先生

国際金融市場に潮目の変化が見られる  
新たな決済サービス「BNPL」導入企業は、平均注文額85%増、リピーター20%増

米国は、「今再び、借金をして消費をするから、消費が拡大する。消費が拡大するからビジネスを仕掛ける側、生産サイドなども拡大する。結果、米国経済は堅調に推移。」

この状況に対して、米国金融当局は、再び金融危機に陥ることを懸念。

グローバル経済での、「BNPL」の市場2020年10.6兆円、2025年72兆円越えを予想。

※BNPLとは、「Buy Now Pay Later」の頭文字を扱った決済サービスで、分割後払いサービスのこと。

この状況は、米国だけではなく、2019年の日本の市場規模は、6,870億円。2016年の2.4倍。2024年は、約3倍の1兆8,000億円と予想。(矢野経済研究所発表)

#### 販売側のメリット

- ・与信管理が不要
- ・資金回収の速さ
- ・クレジットカード決済より安価な手数料

#### 購入側のメリット

- ・クレジットカードを持っていなくても、簡単に利用可能
- ・分割支払いも可能で、分割手数料も不要

今回の講演も、新しい発見、新しい切り口、考え方を躍動感あふれる話し方でいつも通り驚かされました。

懇親会にも、ご参加いただき、更なるお話もお伺いすることができました。

真田先生をはじめ皆様のご協力のもと、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、無事、開催出来ました事にこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。

松浦 勲(記)／企画広報部会長



## ORD講演会・見学会 環境問題とSDGsそして健康を考える

●日 時：2022年4月19日(火) 13:00～17:00

●場 所：おおさかATCグリーンエコプラザ セミナールーム  
ATC[アジア太平洋トレードセンター]・ITM棟11階

2022年4月19日大阪南港のおおさかATCグリーンエコプラザにおいて、講演会・見学会を開催致しました。今回は3部構成として、

第1部は講演会「奥野製薬工業株式会社のSDGsへの取り組み」として山中美由紀先生に。

第2部は見学会で、環境ビジネスの常設展示場で

あるエコプラザ展示場見学ツアーを行い。

第3部は講演会として、当振興会の顧問で落語家の桂文喬師匠より「3RからSDGsそして健康長寿で笑涯現役」というテーマでご講演頂きました。

まず、初めに奥野製薬工業株式会社 企画開発部

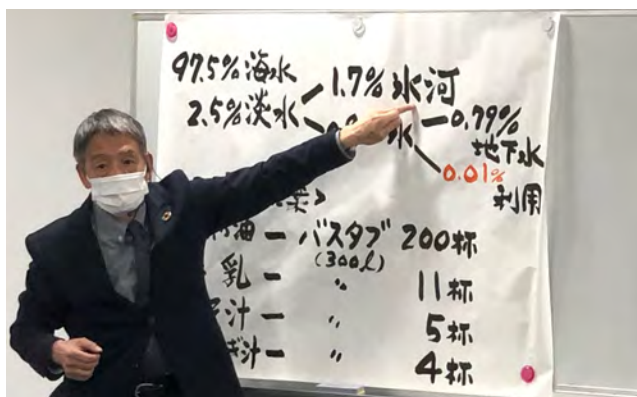




山中美由紀先生

山中美由紀先生に「SDGsとSDGsを活用した環境経営の動向」の演題で奥野製薬工業株式会社のSDGsへの取組みを説明いただきました。奥野製薬工業株式会社は、3つのP (Planet、People、Product) という視点に基づき持続性可能な社会の実現を推進すべく3つの部門(表面処理、無機材料、食品)で横断的に事業展開を進めており、各部門の高付加価値分野で地球持続性に貢献し新価値を創造する研究開発を行っているそうです。表面処理・無機材料部門では、5Gをはじめとする情報通信技術や、クルマの軽量化に貢献する製品と技術の開発。食品部門ではコンビニエンスストアやスーパーで販売されている食品の保存性向上と品質の改良、さらに食品ロスの解決に貢献する研究開発に取り組んでいるそうで、直接目にすることはありませんが縁の下で力持ちとして貢献されているのだと理解できました。

第2部として、環境ビジネスや環境経営に取り組む企業・団体の最新情報を紹介する日本初の常設展示場である、おおさかATCグリーンエコプラザ内の環境ビジネス関連企業常設展示ブース、企画展示コーナーの見学会を実施しました。見学は2グループに分かれ、それぞれにグリーンエコプラザスタッフがガイドと



桂文喬師匠

して引率していただきました。各グループ共にそれぞれのブースに足を止め活発な質疑応答がなされていました。

第3部は、当初2021年の総会においてご講演頂く予定にしておりました、桂文喬師匠に緊急事態宣言並びに蔓延防止等重点措置の影響により2回の延期の末、ようやくご講演を頂くことができました。環境省委嘱の3Rマイスターとして、水の大切さや環境問題と健康問題の結びつき、SDGsによる問題等を参加者一体となり、ユーモアと笑いを取り入れた講演となりました。特に、健康問題については、師匠の持ちネタの小話全開で、つい笑ってしまいました。その笑いが、健康に繋がる事でもあり、とても楽しい時間でした。



その後、会場をささしまコスモタワーホテル17階レストラン空海に移し懇親会を開催し講演会講師の山中先生、桂文喬師匠にもご参加いただきました。懇親会では桂文喬師匠のオリジナル色紙がいただけるお楽しみ抽せん会も実施し、さながらミニ落語会開催の様な盛り上がりで、久しぶりに大笑いいたしました。

山中先生並びに桂文喬師匠、ATCグリーンエコプラザのスタッフの皆様及びご参加頂きました皆様方には、紙面をお借りしお礼申し上げます。

松浦 勲(記)／企画広報部会長  
上岡 秀也(記)／ORD事務局





# ORD見学会レポート 日本の先端技術とSDGs

●日 時：2022年5月20日（金）14:30～16:30

●場 所：株式会社アテックス 奈良事業所 奈良市針町3862-5



2022年5月20日 株式会社アテックスの浅野会長のご厚意により、2020年5月より稼働した、奈良事業所の見学会を開催することができました。コロナ渦において、見学を受け入れて頂く施設も限られた中、久しぶりの見学会となりました。



まず、成岡社長より企業のスローガン「プラスチックで芸術を創造する」の説明から、設備面において、業界では先端的な縦型の射出成型機多数を取り揃え、且つ、その工程にオリジナルな付加価値を加えて他社との差別化を図り、車関係に重点的に取り組まれています。品質及び技術には、妥協はなく本社直轄管理にて自社技術の向上を図られています。

特に強みとして、

1. 技術的な特許を多数保有
2. 難しい工程ほど、自動化に移行
3. 製品検査の自動化



工場見学は、神田部長の案内で、成岡社長も各セクションでのご説明を頂きました。従業員の65%は外国人で手順書等は、映像でいつでも確認出来るシステムとなっており、従業員に理解していただける工夫がなされています。この仕組みは海外に進出されようと考えておられる、ORD会員企業様にとっても有効な手段と考えます。

懇親会には、浅野会長、成岡社長、神田部長にも同席頂き、浅野会長より会社設立に至った経緯や、御苦労話そして試作開発企業から量産企業への移行への変遷、そして将来の方向性のお話を伺い、「開発型企業のあるべき姿とは？」と、楽しい時間を有意義に過ごさせていただきました。



天理駅から奈良事業所間を、自社の従業員送迎用のマイクロバスにて送迎して頂き、大変恐縮ではございましたが、お心遣いに深く感謝申し上げます。

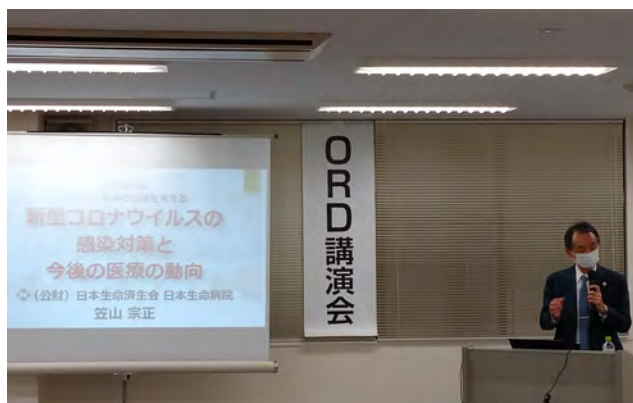
見学会にご対応頂きました、浅野会長、成岡社長、神田部長並びに、奈良事業所の皆様には、この紙面をお借りし、厚くお礼申し上げます。

松浦 勲(記)／企画広報部会長



## ORD講演会レポート 日本の危機を考える(\*)

●日 時：2022年6月3日(金) 15:00~16:45 ●演 題：新型コロナウイルスの感染対策と今後の医療の動向  
●場 所：奥野製薬工業株式会社 本社4階 会議室 ●講 師：日本生命病院名誉院長 笠山 宗正 先生



2022年6月3日 奥野製薬工業(株)本社会議室において、日本生命病院名誉院長 笠山宗正先生に、「新型コロナウイルスの感染対策と今後の医療の動向」というテーマでご講演頂きました。

一般的に、人に感染するコロナウイルスは、7種類。

風邪に関するコロナウイルスは、4種類あと、SARS(サーズ)、MERS(マーズ)と、今回の新型コロナウイルス。

新型コロナウイルス「オミクロン株」の陽性患者数は、10歳未満の方が人口比率的に多くなっている。これは、ワクチンとの関連性があるのでは。

### ●酸素投与が必要になりやすい患者

慢性肺疾患2.51倍、男性2.09倍、肥満1.75倍、  
心血管疾患1.48倍、糖尿病1.34倍、高血圧1.33倍

### ●死亡率が高かった基礎疾患

慢性腎臓病、心血管疾患、脳血管疾患、慢性肺疾患、  
固形腫瘍、糖尿病、肝疾患、高血圧、脂質異常症  
今回のワクチンは、感染する前に免疫力を高める(獲得免疫)効果。

新型コロナウイルスの「ゼロリスク」は、無理。感染のリスクを少しでも下げる姿勢が必要。他人に広げないためにも、当面の間は、飛沫エチケット、手洗い、こまめな換気、タオルの共用禁止、疑わしい時の外出禁止等の徹底。新型コロナウイルスの発生から2年半が経過し、社会活動との両立めざす対策に変わる方向。

今後の医療動向として、死亡原因のトップ、悪性新生物(がん)は、早期発見で5年生存率が高まってきている。

### 【がんを防ぐための新12か条】

1. タバコは吸わない。
2. 他人のタバコの煙を避ける。
3. お酒はほどほどに。
4. バランスの取れた食生活。
5. 塩辛い食品は控えめに。
6. 野菜や果物は不足にならないように。
7. 適度に運動。
8. 適切な体重維持。
9. ウイルスや細菌の感染予防と治療。
10. 定期的ながん検診。
11. 身体の以上に気づいたら、すぐに検診。
12. 正しいがん情報でがんを知ること。



新型コロナウイルス感染症は、感染予防の徹底：慣れず、侮らず、怠らず。

がんは、早期発見による適切な治療。

心血管疾患は、原因発見による発症予防。

認知症・フレイル\*は、食事、身体活動、社会参加。



(※フレイルとは？ 加齢や疾患によって身体的・精神的さまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱になった状態のこと。)

笠山宗正先生には懇親会にもご参加頂き、最近の医学の動向や健康でいられる方法などのお話などの質問攻めにも、丁寧にご対応頂き有難うございました。笠山宗正先生には、御多忙にもかかわらず、ご講演賜り、深く感謝しこの紙面をお借りしお礼申し上げます。

松浦 勲(記)／企画広報部会長



(※)事務局注：本講演は2021年度に計画していましたが新型コロナウイルス感染拡大により、今年度に延期開催されましたので、昨年度のテーマを記載しています。

## 技術促進委員会「見学会」レポート

●日 時：2022年6月17日(金) ●場 所：日吉ダム、グンゼ博物苑、黒谷和紙協同組合



梅雨の合間の晴天の中、総勢13名にてJR大阪駅前中央郵便局跡地に集合し、日吉ダム、グンゼ博物苑を見学、黒谷和紙協同組合にて黒川和紙漉き体験をしてみました。

日吉ダムは、京都府南丹市日吉町にある淀川水系桂川上流に位置する中規模ダムです。淀川水系の13%を桂川が占めておりますので、近畿に住む我々にとって非常に重要なダムです。ダムのおかげで、①ダム下流域の洪水被害の軽減、②下流河川の流水の正常な機能維持、③京都府、大阪府、兵庫県に水道用水の供給、ができるようになりました。ダム計画の構想発表が1961年に始まり、1998年にダムの運用が始まりました。運用開始まで40年近くかかったことになります。また、運用の管理は、国交省の外郭団体である(独)水資源機構が総勢13名で行っており、実際の運用(監視)はその外注先が24時間体制で行っているとのことです。もちろん台風の季節等、問題の起こりそうなきには、水資源機構の方が泊りで対応しているとのことです。(運用外注先は決裁・指示権を持っておらず、変化点がないか、を監視しているとのことです。)



今回は、ダムの中にある展示パネル、バルブ室(放流設備開閉装置)等を見学しながら、水資源機構の方(2名)に1時間余りにわたり案内していただきました。ダムの寿命は永久、堆積土砂は定期的に掘削、等、皆さん色々と質問しながらの楽しい見学となりました。

昼食は、近くの道の駅にて定番の「日吉ダムカレー」を食しました。その際、ダムカレーマップというものを頂いたのですが、発行元は「日本ダムカレー協会」となっており、公認されているダムカレーは109種類あるそうです。(未確認のものを含まず)





グンゼ記念館



昼食後、綾部市にあるグンゼ博物苑に向かいました。グンゼというと、肌着やストッキングのメーカーと認識している方が多いと思いますが、もともとは1896年の生糸の生産から始まり、創業時の社名は郡是製絲株式会社となります。「郡」は創業地である何鹿郡の「郡」、「是」は方針のことですから、何鹿郡を発展させるために蚕糸業を始めるといったところでしょうか。蚕糸業というと女工哀史に代表されるようにブラック企業をイメージしますが、創業者である波多野鶴吉がクリスチャンであったこともあり、当時としては珍しく①人間（女工）尊重、②優良品の生産、③関係者との共存共栄、を創業の精神としており、女工の教育や福利厚生に力を入れていたとのことでした。現在では、肌着、ストッキング以外に、エンジニアプラスチック事業部からシュリンクフィルム（ペットボトルラベル等）、メディカル事業部から手術用生体吸収性縫合糸が売上の多くを占めてい



黒谷和紙協同組合



るとのお話でした。また、資料が展示してある資料館が大正時代の本社なので、建屋そのものを含めて見どころ満載でした。

最後に黒川和紙協同組合に伺いました。黒川和紙は京都府指定無形文化財で、800年ほど前にこの地域に落ち延びた平家の落人が始めたとのことでした。現在、組合に所属した個人事業主（＝職人さん）が、各々、組合が管理している共同設備（作業場）を利用しながら、黒川和紙を製造しているとのことでした。ですから、黒川和紙は分業で製造されておらず、各人がすべての工程を一人で行う形で製造されています。

実際に職人さんが作業中の共同作業場を各工程順に見学させていただいた後、和紙漉き体験を共同作業場で行いました。ORDメンバー各人が漉いたものは、天日で乾燥させますので、乾燥後ORD事務局に送られてくるはずですが、2色の色付けもしましたので、どうなっているか、楽しみです。

その後、予定通り18：30頃に帰阪いたしました。

最後になりますが、暑い中、ご対応していただきました、（独）水資源機構スタッフの方、グンゼ博物苑、高尾規人苑長様、黒川和紙協同組合スタッフの方に厚く御礼を申し上げますと共に、ますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

伊場田晶（記）／旭テック株式会社

# 製品開発委員会例会レポート

## 2022年度総会・第1回例会

- 日 時：2022(令和4)年4月13日(水) 14:00～16:45
- 場 所：奥野製菓工業(株)本社、4F会議室：大阪市中央区道修町4-7-10
- 総会・例会：①「新年度新役員改選について」 14:00～15:15  
 ②「2021年度活動及び決算報告について」  
 ③「2022年度活動方針(案)について」  
 ④「2022年度活動計画(案)・予算審議・承認について」  
 ⑤ 9月14日 日帰り研修(高丸工業(株))の立寄り先と訪問時間検討
- 講演会：テーマ：「中小企業の事業承継の注意点について」 15:15～16:45  
 講師：梅田総合法律事務所 弁護士 河村利行氏
- 懇親会：17:00～19:00 居酒屋「小ぼけ 道修町店」 特別会費 3,000円/人

4月13日(水)午後2時から奥野製菓工業(株)本社4F会議室において開催。

当日は株式会社三社電機製作所執行役員経営企画本部副本部長 四方 幸 様が、元執行役員鈴木茂人様のご退職に伴う後任として鈴木様と共に参加いただきました。また、技術促進委員会の伊場田委員長様も講演会に参加、聴講されました。



新年度のスタートに当たり、役員改選を提議、前年度と同じメンバーが再任され引き続き運営推進に当たることになりました。次いで個々の議題について報告及び審議を行い、新年度の基本方針、行動計画及実行予算が原案通り承認可決され新年度がスタート致しました。この一年会員皆様の健勝とご活躍を祈念申し上げますとともに、当会の運営推進に一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

「総会」後の基調講演には著名な「梅田総合法律事務所」のパートナー弁護士で、41年間の弁護士生活を

通じ特に労務関連に精通され、元日本弁護士連合会監事の「河村利行弁護士殿」をお招きして「中小企業の事業承継の注意点について」と題してご講演をいただきました。企業の事業承継問題はその性格上「税理士」や「会計士」との共同作業が必要であると言お断りされたあと、「事業承継の注意点」について事前配布されたレジュメに基づき個々の事項について説明いただきました。

オーナー経営者死亡前の事前対策として事業用資産(株式、土地等)の承継問題で「骨肉の争い」に発展するケースもあり、「遺言」「生前贈与」「売買」「種類株式の利用」「定款による譲渡制限」「相続人等に対する売渡請求」「M&A」「相続税贈与と税対策」「信託を活用した中小企業に事業承継」等についてそれぞれ事例を交えて説明いただきました。

「生前贈与」の財産評価について、相続開始時、後継者の努力によって株価が増大した場合遺留分の額が増えるという矛盾が生じることがあるが、「経営承継円滑法」を活用して相続人の合意により贈与時の株価にもとづいて遺留分の計算が可能であること。「相続人等に対する売渡請求」については、後継者の株式に対する売渡請求のリスク、すなわち後継者当人と他の株主との関係を考えないと、売渡した後で問題発生の可能性のあることに留意すべきこと。

「信託を活用した中小企業に事業承継」については、経営者(委託者)が親爺さん、受託者が息子、受益者が親爺という「家族信託」が利用されはじめていること。更





に、「オーナー経営者の判断能力の喪失(認知症等)に備えて」については、自己が認知症になることを懸念して、事前に信頼できる者を任意に選択し「任意後見契約」を締結していれば、万一認知症になっても契約した任意後見人が委任された事務を本人に代わって行うことができること等有益かつ有意義な内容のご講演をいただきました。

当委員会はオーナー経営者中心の集まりで、本テーマに対する関心度も高く講演会及其後の懇親会でも熱心な質疑応答が行われました。中小企業においては特に「後継者の育成」や「技術の承継」問題は深刻であり、今後も機会があれば同様の講演会や実務セミナーの開催計画を致したいと考えております。お世話になりました河村先生に改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。今後共よろしく願い申し上げます。

コロナ禍で長期間中断されていた「懇親会」を会場近くの小料理屋「小ほけ」で講師の河村先生にも参加いただき開催いたしました。本当に久しぶりの懇親会の開催で、フソー(株)林取締役殿による乾杯の音頭の後、和気あいあいの中で2時間余り楽しく有意義なひと時を過ごすことができました。「ノミネーション」の効用を改めて時間すると共に、次回7月の「例会—(株)西村製作所 西村会長殿の講演」での再会を約し、散会いたしました。

藤川 儀夫(記)／株式会社ラボスタ

## 製品開発委員会例会レポート 2022年度第2回例会

- 日 時：2022(令和4)年7月13日(水) 15:00～16:45
- 場 所：大阪産業創造館 5F 研修室B 大阪市中心区本町1-4-5
- 例 会：「挨拶及び序言—藤川委員長」15:00～15:20
- 講演 会：テーマ：「人生は恥の数だけ味がある」15:20～16:45  
講 師：株式会社西村機械製作所 会長 西村卓朗様
- 懇 親 会：17:00～19:00 海鮮酒場「ばたばた 堺筋本町店」特別会費 5,000円/人

令和4年7月13日(水)「ORD製品開発委員会第2回例会」を大阪産業創造館で予定通り開催いたしました。当日は、平素からお世話になっております奥野製薬工業株式会社様の社内事情で会議室の使用変更を余儀なくされ、事務局の斡旋で急遽場所変更をして無事開催することができました。当日開催の例会は「2022年度基本方針計画」に基づき当委員会内部の講師による講演会を実施いたしました。講師には「株式会社西村機械製作所」西村卓朗会長様をお招きして、自らの恥を忍んで敢えて執筆したと謙遜されております「人生は恥の数だけ味がある」と題して質疑応答を含め約2時間お話をいただきました。



ご案内の通り、西村会長様は長年にわたる業界への高い貢献度と素晴らしい企業業績に対し令和元年11月「旭日双光章」叙勲の名誉に浴されており、一方では技術者でありながら「文筆活動」に深い関心を持たれ現在の大阪文学学校で「小説」の勉強をされ卒業後は「ノンフィクション作家」としてご活躍されております。また、産経新聞社主催の川柳道場「おおさか川柳」にも定期的に投稿され、この分野においても度々選ばれるなど実力を発揮されております。

当日は、「新型コロナBA5型」感染拡大の中、11名の方々が参加され、普段あまり見られない緊張気味の話しぶりに興味津々で波乱万丈の体験談に耳を傾けました。267ページに及ぶ「自分史」とも称すべき内容の大作で、初めての方も居られると思いますので当日配布された「レジュメ」からその一部を抜粋し披露させていただきます。

#### 第1章「田舎へゆこうかなあ」

大阪空襲の3日前に腸チフスで桃谷病院に入院したお陰で九死に一生を得た。望郷の思いが強く、湊町駅で無謀にも列車を止める大事件を起こしたが、幸い寛大な処置のお陰で急遽愛知県の吉浜に疎開することができたという思いで深い話。

#### 第2章「青春はお口パークション」

泥棒からバイクをとられたが、それを迅速な行動と粘りで無事取戻し、泥棒から”ドロボー”と逆に言われた思い出。このことで、「物事は可能性のある限り挑戦すべきであり、絶対にあきらめてはならないことを学んだ」と教訓を得た話。

#### 第4章「社長をやれ」

当時は「大阪」と「東京」が対立する世相であったため、「大阪」を伏せて「東京」進出を果たしたトップとしての苦労話。

#### 第5章「さくらエビ 脇役だけど春の味」

個性あふれる上方文化人川柳会「相合傘」や産経新聞「おおさか川柳」に投句し、選ばれた川柳の一つを披露。

#### 第6章「人生は途中経過が面白い」

米粉の製造機のトップメーカーとして、「中国江陰機械」を苦労の末、今日の立派なパートナー企業に育成した実績披露。更に、人生の集大成と思われる「旭日双光章」叙勲の思いで話を、当時の天皇陛下に直接声掛けいただいた喜びと奥様の内助の功への感謝の気持ちお聞きすることができました。

このほかにも、「大映、市川雷蔵一座にスカウトされて太秦へ」「国道25号線で、交通事故に絡む事件に巻き込まれヤクザ20人に囲まれて」「レイプされる美人を助けた堀江」など数多くの興味をそそるテーマが赤裸々に記述されています。関心ある方は多少在庫残があるとのことなので直接西村会長様に連絡いただくか、ORD事務局またはORD製品開発員会藤川委員長迄連絡いただければ「貸出」可能です。

「人生は恥の数だけ味がある」というテーマについて考えるとき、確か「人生は芸術」とであると過去に聞いた言葉を思い出し、著者がこれまで歩んでこられた人生は正に”芸術”であり、それに値する体験談が集約されたものであると理解致します。特に親爺様の色街育ちの粋な生き方は、“フェミニスト”である今の西村会長様に良い影響を及ぼし、人一倍「心配り」や「心配り」が行き届く基本的なベースが自ずと培われてきたに違いありません。

講演後は近くの居酒屋で3ヶ月ぶりの『懇親会』を開催し、講演会では聞けなかった“番外編”が宴たけなわと共に佳境に入り、西村会長様ご本人のフェミニストぶりが発揮され、和気あいあいの中で解散となりました。

西村会長様のご健勝と会社のますますのご発展を祈念申し上げます。

藤川 儀夫(記)/株式会社ラボスタ



## 事務局だより

冒頭の記事でも紹介しましたが、2022年度のORD総会が3年ぶりに開催され、久々に皆様のお元気な顔を拝見することができました。懇親会は新型コロナの影響による会場側の規制で立食形式がかなわず、アクリル板を挟んだ着席方式となりご不自由をお掛けしましたが、和気あいあいとお過ごしいただけたのではないのでしょうか。そして総会では会員企業の新製品紹介をORDニュースで取り上げてはどうかとのご提案をいただきました。そこで今回その募集についての告知を行いますのでご覧ください。

現在、新型オミクロン株による第7波の感染真っ只中ですが、感染防止対策を万全にしウイズコロナで乗り切っていきましょう。今年度も半分か過ぎようとしていますが、後半に向けての行事予定もまだまだ盛りだくさんですので、皆様のご参加をお待ちしております。

### 会員企業の製品紹介について

ORDニュースで会員の皆様の会社の「新製品」「一押し製品」を紹介させていただきます。紙面での紹介をご希望の方は、製品概要と一緒にORD事務局宛にご連絡をお願いいたします。

連絡先：大阪府研究開発型企业振興会 (ORD) 事務局 上岡宛

TEL 06-6961-7866 FAX 06-6961-7878

E-mail h-ueoka01@okuno.co.jp

ORDホームページ(<https://ord-osaka.org>)の「お問い合わせ」フォームからも可能です。

### 2022年度行事予定

#### (1)ORD全体行事

| 行事名  | 開催日            | 会 場          | 内 容                                                                                                        |
|------|----------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 講演会  | 9月15日(木)       | 奥野製薬工業(株) 本社 | 講演会：15：00～17：00<br>量子コンピューターに関する話題<br>大阪大学大学院基礎工学研究科 教授 藤井啓祐 先生<br>懇親会：17：00～18：30                         |
| 講演会  | 11月16日(水)      | 奥野製薬工業(株) 本社 | 講演会：15：00～17：00<br>カーボンニュートラルに向けた自動車技術と関連政策<br>早稲田大学名誉教授<br>同大学次世代自動車研究機構研究所 顧問 大聖泰弘 先生<br>懇親会：17：00～18：30 |
| セミナー | 2月開催<br>(日程未定) | 奥野製薬工業(株) 本社 | 講演会：15：00～17：00<br>海外取引に必要な訴訟問題対策<br>－中国依存による知財、訴訟等の紛争対策－<br>懇親会：17：00～18：30                               |

## (2)各委員会活動予定

## 1. 製品開発委員会

| 開催日       | 会 場             | 内 容                                                        |
|-----------|-----------------|------------------------------------------------------------|
| 9月14日(水)  | 日帰り研修<br>(工場見学) | 見学会：高丸工業(株) (第3回)<br>産業用ロボットシステム総合メーカー<br>懇親会：17:00～19:00  |
| 10月12日(水) | 奥野製薬工業(株) 本社    | 例会：15:00～17:00 (第4回)<br>懇親会：17:00～19:00                    |
| 12月13日(火) | 奥野製薬工業(株) 本社    | 例会：14:30～15:30 (第5回)<br>講演会：15:30～16:45<br>忘年会：17:00～19:00 |
| 2月15日(水)  | 奥野製薬工業(株) 本社    | 例会：15:00～17:00 (第6回)<br>懇親会：17:00～19:00                    |

## 2. 技術促進委員会 2022年度テーマ「伝統技術の承継」

| 開催日                  | 会 場                  | 内 容                                        |
|----------------------|----------------------|--------------------------------------------|
| 10月21日(金)<br>～22日(土) | 広島県尾道市 方面<br>愛媛県新居浜市 | 一泊研修：石田造船(株)<br>別子銅山                       |
| 12月9日(金)             | 姫路市内                 | 見学会：ペレテリア(皮革産業関連展示、体験)                     |
| 2月10日(金)             | 大阪市内                 | 見学会：旧小西家住宅史料館<br>会議：次年度活動計画策定(奥野製薬工業(株)本社) |

## 【各行事へのご参加に際してのお願い】

- ・会場において新型コロナ感染防止対策に万全を期しておりますので、ご参加の皆様におかれましては、ご自身の体調管理とマスク着用をお願い申し上げます。
- ・ご参加当日、発熱症状や倦怠感等がございましたらご来場をお控えください。

※今後の新型コロナ感染拡大状況により内容の変更および中止とさせていただく場合がございます。